

制度の名称について

1 市民、庁内からの提案

計画アセスメント
市民による市民のための環境アセスメント
計画環境アセスメント
広島市 夢 希望 アセスメント
プランニングアセスメント(P.A) 基本構想
トータルアセスヒロシマ
持続可能性のための環境アセスメント

2 審査会委員からの提案

計画段階アセス
環境計画アセスメント
環境政策アセスメント
環境管理アセスメント
政策、計画アセスメント
環境総合アセスメント

3 本制度の仮称を「総合環境アセスメント」とした理由

現行の環境アセスメント制度と比較して、つぎのとおり総合的であり、他自治体（東京都、埼玉県）で用いられていたことから、仮称として「総合環境アセスメント」を用いた。

事業に先立つ政策や計画等を対象とすることで、累積的・複合的な影響など、総合的に環境アセスメントを行なうことを目指すものである。

意思決定過程において、環境面と社会・経済面の影響評価を統合して、総合的に判断し、計画等が決定されることを目指すものである。

4 本制度の名称（案）

本制度は、現行の環境アセスメント制度の限界を補完し、事業に先立つ政策や計画等の立案段階において、環境アセスメントを行なうことにより、環境への配慮を組み入れ、持続可能な社会の実現を目指すものである。

このような、政策・計画・プログラムを対象とした環境アセスメントは、海外では、Strategic Environmental Assessment (SEA) と呼ばれており、国内では、戦略的段階で環境アセスメントを行なうことから、「戦略的環境アセスメント」と訳されている。

名称については、市民・審査会委員から様々な提案があり、また、「戦略」という言葉は、どうしても戦争を連想するため、平和都市ヒロシマにおける名称としてはふさわしくないという意見もあるが、本制度の特徴である「事業に先立つ政策や計画等の立案段階において、環境アセスメントを行なう」ことを表した「戦略的環境アセスメント」がふさわしいと考える。